

ムギ類赤かび病情報第1号

平成27年4月10日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

赤かび病多発のおそれ、今後の天候に注意！

ムギ類の赤かび病は、出穂期から乳熟期にかけて気温が高く、降雨日数が多いと発生量が多くなる傾向があります。多発すると収量や品質が低下するだけでなく、かび毒による汚染が生じるおそれがあります。

「麦作管理支援情報第3号」（平成27年3月26日、企画普及部広域指導室発表）によると、コムギの出穂期は、「きぬあかり」と「農林61号」が平年に比べ1日早から1日遅れ、「イワイノダイチ」が1日から3日遅れと予測されています。

名古屋地方気象台4月9日発表の1か月予報（4月11日から5月10日までの天候の見通し）によると、天気は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。向こう1か月の降水量は、多い確率50%、日照時間は、平年並又は少ない確率ともに40%と予想されています。

これらのことから、赤かび病の発生に好適な条件が続く可能性が高いと予測します。

赤かび病の感染予防のための防除適期は、開花期です。出穂時期や開花期は、生育状況や天候により変動しますので、ほ場での生育をよく観察し、降雨を考慮して適期に防除ができるよう努めましょう（表参照）。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	薬剤の系統
麦類	トリフミン水和剤	収穫14日前まで	3回以内	EBI
	ワークアップ乳剤	収穫7日前まで	3回以内	EBI
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	グアニジン
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	ストロビルリン
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内	ベンズイミダゾール
	トップジンMゾル	収穫14日前まで	(出穂期以降は2回以内)	
	ベフラン液剤12.5	収穫14日前まで	3回以内	グアニジン
	ベフラン液剤25	収穫14日前まで	(出穂期以降は1回以内)	
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	EBI
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	EBI
トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	EBI	
無人ヘリコプター用				
作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	薬剤の系統
麦類(大麦を除く)	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	EBI
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	ベンズイミダゾール
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	EBI
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	EBI